

幅広い市民活動に目を向け、その活動に敬意を表するとともに、活動意欲の向上をはかるため、函館市功労者および函館市文化賞に次ぐ位置づけの表彰制度として、規則を根拠として新たに制定するものである。

○交通系ICカード導入調査費

市においては、電車、バスともに平成4年に導入した磁気カードシステムを、現在も使用しているところであるが、電車については、ICカード導入が経営計画の検討項目となっていることや、今後新たな交通ネットワークを構築するにあたり、乗り換え時の利便性の向上に資すると考えられ、さらには、北海道新幹線開業によって交流人口の増加が見込まれることから、電車、バスへのICカードシステムの導入に向けた調査のほか、関係機関との協議、検討を進める。ICカード導入のメリットは、利用者にとっては、整理券が必要なくなることで乗降がスムーズになるとともに、乗り換え時の利便性が高まることなどがあり、事業者にとっては、乗客のスムーズな乗降により、定時性が確保されることや、利用状況のデータを把握することで、効率的な運行が可能となることなどがある。北海道新幹線開業によって交流人口の増加が見込まれているなかで、市民はもとより、観光客にも利用しやすいシステムが望ましいと考えているので、本市の状況に適した、より経済的なICカードの導入を目指していきたい。

○亀田地区統合施設整備検討調査費

調査費は、亀田地区における統合施設の整備について検討するための懇話会を開催する経費であり、経費の内訳については、委員への謝礼金や会議の会場使用料および資料の作成経費である。

懇話会の委員は10名程度で、町会関係者、子育て支援団体、福祉団体、体育団体、経済団体等、各関係団体から推薦をいただいた方々のほか、公募による委員の募集についても予定しており、統合施設の内容や機能などについて、幅広い観点からの提言をいただきたいと考えている。新しい統合施設に継承する機能については、基本的に統合対象施設の亀田福祉センター、美原老人福祉センター、美原児童館、亀田青少年会館、亀田公民館の既存の機能を継承していくことを考えており、建設コストや将来のランニングコストなどを考慮しながら十分に検討した上で決定していきたい。今後のスケジュールとしては、6月中旬に実施した統合対象施設の利用者への説明会でのご意見などを踏まえ、本年8月中を目途に基本計画の素案を作成するとともに、検討懇話会を立ち上げ、その素案を検討していただいた上で、基本計画案をまとめ、パブリックコメントを経て、基本計画を策定していきたい。

○市民会館耐震改修調査費

このたび実施しようとしている調査は、昨年度実施した耐震診断の結果を受け、市民会館は補強工事によって耐震性を確保できる状態であると判断したことから、できる限り早期に耐震補強を行うため、より合理的・経済的な改修方法や、劣化が進んでいると想定される建築設備の状況について調査をしていくものであり、調査の結果が判明していない現時点においては、建て替えという考えはない。耐震改修工事を行うまでのあいだの利用にあたっては、利用者の安全を確保するために、コンサート中に地震が発生したものと設定し、観客の避難誘導を行う「避難訓練コンサート」

の実施など、緊急時におけるシミュレーションの徹底や、即時に対応できるような体制の強化について、指定管理者と連携し、迅速かつ適切に対応できるよう努めるとともに、緊急地震速報受信端末の設置など、様々な安全対策について検討していきたい。

○函館アリーナ開館記念公演開催経費

このたびのこけら落としは、函館アリーナのための単独公演となり、機材費などを按分することができず、開催会場数に応じて経費が按分されるいわゆるライブツアーの一環として開催される場合と比較して、開催経費が割高になってしまったため、経費が増加する分について市として負担するものである。このたびのこけら落としは、全国発信されると想定されることから、アリーナの開設をPRする上で極めて広報効果が高い事業となると考えられる。さらに、GLAYの皆さんによる大規模なライブが開催できたことで、他の大物アーティストのコンサート開催も含め、アリーナの今後の利活用が大きく貢献するほか、経済波及効果が2億5千万円を超えるものと試算しており、地域にも大きく貢献すると考えられ、また、函館市観光振興基金条例に規定されている「観光の振興」に寄与するとの観点から、観光振興基金を繰り入れることとしたものである。

委員間の協議

○市民貢献表彰経費

既存の表彰条例や規則の改正で補えないかと思ったが、新しい制度をつくる必要性について確認できた。

○亀田地区統合施設整備検討調査費
施設利用者の利便性の問題等、心

配な面もあるが、今回は検討調査費であり、良しとした。今後のスケジュールで、説明会も開催することが確認できた。

○市民会館耐震改修調査費

調査結果を見て、耐震改修をどのように進めていくのか議論したい。早期に調査を行い、リスクを除去していただきたい。耐震改修調査は必要であり、一日も早く安全な市民会館にすべきである。

○函館アリーナ開館記念公演開催経費

経済効果は2億5千万円と試算されており、反対にするまでに至らない。予算の内訳、観光振興基金繰り入れの妥当性が確認できた。などの理由で賛成。

経済建設分科会

議案3件を審査

主な論点・疑問点等

議案第1号 平成27年度函館市一般会計補正予算(経済建設分科会関係部分)

○市民交流プラザシンボルアート整備費

シンボルアート整備の具体的内容および位置づけ

○企業誘致アンバサダー制度事業費

新規事業としての具体的な考え方やIT技術者人材育成支援補助金

○新設する目的および実効性を高めるための対策

○熱帯植物園整備検討調査費

調査の概要

○熱帯植物園整備検討調査費

○熱帯植物園整備検討調査費

主な理事者の説明

○市民交流プラザシンボルアート整備費
市民交流プラザ内に設置する「レリーフ」については、GLAYのメンバー